

清水黙爾 しづみ 梵文學者。明治八年十一月六日東京生れ、二十六年八月二十日歿（一八七五—一九〇三）。筆名黙爾、孤蝶子、島地黙爾、泥佛生、清水黙爾、清水泥佛、清水生、清水紫風、清水阿洲、紫風等。島地黙爾の次男。明治二十五年インドに留學。同年末大谷光瑞の佛蹟探検に加はり、蘭田宗惠と共に各地を踏査し、病を獲てボンベイに客死。小説と書を遺す。

『紫風全集』（島地雷夢編、明治四十年九月十七日高島大圓刊、山中孝之助・鶴聲堂）がある。